

大阪日々新聞紙九号

明治七年十一月廿三日夜大阪
安治川町にて強盗を追ふ
捕吏の數多小千向ふ三人
加刃の文次郎振及神戸の
竹次郎捕松各三千前後の壯者子て町の方
にて大金を奪ひ人を害し大阪小逃を來る
悪徒あり安治川玉木鎌田の両家小潜伏せ
を取圍む兇賊の長が刀切先に向ひかく群る
捕手の手負深手の血煙り風が紅葉々をちる
実争續く荒手小天網のぐるく事協を
文次郎の擲とあり残り兩火の水を浴り行
を知らぬ嗚呼暴悪いよと窮迫する
踏跡を縮んあつと決せりと報知五百十六号
記せ

文花主人誌



小島政次郎

文花主人誌